

鳥獣対策だより

野生動物の被害から大切な農地を守るためには、防除柵を設置することが有効です。

今回の鳥獣対策だよりでは、柵の種類や、管理の注意点をご紹介します。

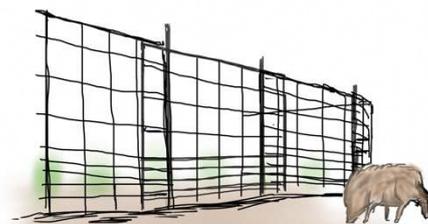


防除柵の設置例

防除柵の種類

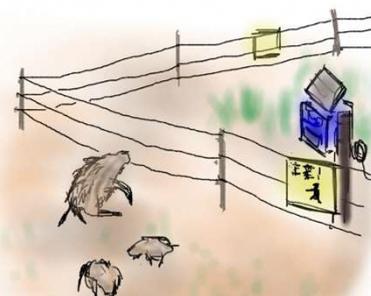
ワイヤーメッシュ柵

金属製のワイヤーを格子状に組んで溶接したもので、物理的遮断効果のある柵です。設置にかかる労力は大きいですが、耐久性があります。



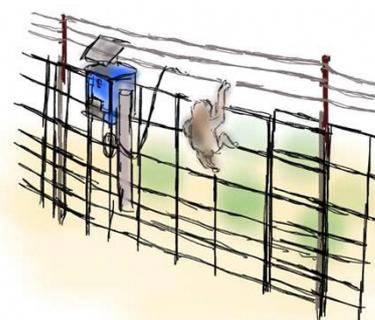
電気柵

通電した電線により動物に刺激を与える、心理的忌避効果のある柵です。設置にかかる労力は少ないですが、普段から草刈りや電圧の管理などが必要です。



複合柵

ワイヤーメッシュなどの柵と電気柵を組み合わせたもので、柵を登ることのできる動物に対して有効です。



柵管理の注意点は裏面です

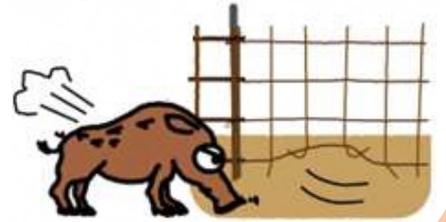
防除柵は、正しく設置して管理を継続しなければ十分な効果を発揮できません。

設置と管理の基本的な注意点を紹介します。

柵管理の注意点

ワイヤーメッシュ柵

周りがやぶになっていると、動物が近寄りやすく、柵の弱い部分を破られることがあります。やぶにならないように、こまめに草刈りや点検をしましょう。



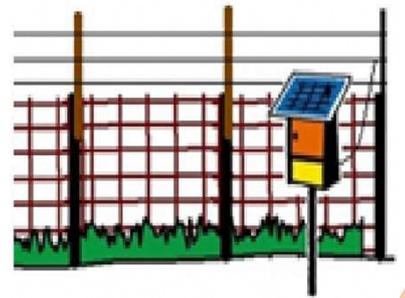
電気柵

電気柵に草や枝などがかかると、十分な電圧が出ません。こまめな草刈りや電圧の点検を心がけましょう。電気が流れていない時間があると、動物が侵入してしまうので、24時間通電しましょう。



複合柵

サルの場合、木や電柱との距離が近いと、柵の中に飛び込まれます。十分離して設置しましょう。ワイヤーメッシュ柵や電気柵と同じ管理が必要です。



くわしく知りたい方は👉

「復興庁 **イノシシ被害対策技術マニュアル**」で検索！

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/wildlife/20190118111241.html>

ページの下方向対策技術マニュアルがあります。（データ通信料が発生します。）



福島県では、避難地域鳥獣対策支援員を避難地域12市町村に配置しています。地域住民と共に鳥獣害対策に取り組み、コミュニティの再構築を図ることを目的としています。



対策のご相談、情報提供はお住まいの市町村役場の担当課へ！